

第4章 都市づくりの目標・将来都市構造

○川口市における都市づくりの目標と将来都市構造を示しています。

4-1 都市づくりの目標

4-2 将来都市構造

第4章 都市づくりの目標・将来都市構造

4-1 都市づくりの目標

本市の都市づくりの目標について、以下に示します。

【目標1】生活利便性の高い魅力的でにぎわいあふれる都市づくり

鉄道駅周辺における適正な都市機能の誘導や、拠点間・拠点周辺等における魅力ある都市環境の形成に取り組み、生活利便性の高い魅力的でにぎわいあふれる都市づくりをめざします。

【目標2】人と自然と産業が調和した持続可能な都市づくり

住・工・商の混在市街地における適正な土地利用の推進や、市街化調整区域などにおける緑農地の保全と緑農産業の振興、広域幹線道路沿道の立地特性を生かした産業系土地利用への誘導などに取り組み、人と自然と産業が調和した持続可能な都市づくりをめざします。

【目標3】交通ネットワークが充実した快適で利便な都市づくり

市民の暮らしや産業活動を支える階層的な道路ネットワークの構築や、通勤・通学や買物などで更に利用しやすいバスネットワークの構築、鉄道駅周辺における交通環境の改善、レクリエーション拠点等へのアクセス性・回遊性の向上に取り組み、交通ネットワークが充実した快適で利便な都市づくりをめざします。

【目標4】自然環境豊かなうるおいとやすらぎのある都市づくり

河川空間や公園・緑地の整備・活用の推進に取り組み、自然環境豊かなうるおいとやすらぎのある都市づくりをめざします。

【目標5】地域の持続的発展に寄与する健全な都市づくり

公共施設等の計画的かつ効率的な維持管理の推進や、公共施設跡地の利活用の推進に取り組み、地域の持続的発展に寄与する健全な都市づくりをめざします。

【目標6】災害に強く安全・安心な都市づくり

土地区画整理事業の推進や、密集市街地の解消、都市型水害の抑制に向けた総合的な治水・浸水対策の推進、緊急輸送道路沿道建築物における耐震化の促進に取り組み、災害に強く安全・安心な都市づくりをめざします。

4-2 将来都市構造

本市がめざす将来都市構造について、以下に示します。

《将来都市構造の基本的な構成要素》

「ゾーン」：空間形成の考え方を示した大枠の土地利用区分

「拠点」：市民の暮らしや来訪者の活動を支える多様な機能が集積し、多くの人が集まる場所

「ネットワーク」：広域的な都市間や市内の拠点間を結び付け、人々の交流や円滑・快適な移動を支える
主要な道路・公共交通・河川等

(1) ゾーン

① 産住共生都市ゾーン・都心地域

市の中央から南部にかけてエリアにおいて、本市の地場産業や商業、流通・サービス業などをはじめとした多様な産業と中高層住宅等が共生する「産住共生都市ゾーン」の形成を図ります。

特に、川口駅・川口元郷駅周辺～西川口駅～SKIP シティ～鳩ヶ谷駅・南鳩ヶ谷駅に囲まれるエリアを「都心地域」とし、質の高い商業や業務・居住・文化等の都市機能が集積した市街地の形成を図ります。

② 樹園都市ゾーン・緑化産業地域

市北部のエリアにおいて、緑化産業の振興と自然緑地の保全・整備を図りつつ、これらの緑と低層住宅等が共生する「樹園都市ゾーン」の形成を図ります。

特に、安行近郊緑地保全区域を中心とするエリアを「緑化産業地域」とし、緑化産業の振興に資する流通や観光・レクリエーション等の機能集積を図ります。

(2) 拠点

① 駅を中心とする生活拠点

JR 線や埼玉高速鉄道線の鉄道駅を中心とした生活圏域を「駅を中心とする生活拠点」とし、商業・医療・福祉・保育など、様々な生活サービス機能の集積を図り、誰もが安全・安心で快適に利用できる利便性の高い生活環境の形成を図ります。

② レクリエーション・産業拠点

グリーンセンターや（仮称）赤山歴史自然公園、荒川運動公園、川口自然公園、青木町公園、芝川マリナー、川口オートレース場、SKIP シティ、川口緑化センター（樹里安）など、市内に存在する集客性の高い施設を「レクリエーション・産業拠点」とし、うるおいとやすらぎある環境の中で、スポーツや散策などの余暇活動を楽しめるほか、植木をはじめとした本市特有の産業の魅力を感ずることができる場の形成を図ります。

特に、SKIP シティ周辺では、他地域との交通動線の確保と回遊性の向上を図るとともに、様々な活動が行える都市機能を集積させ、人々が集まる魅力的な空間の形成を図ります。

(3) ネットワーク

① 交通ネットワーク

1) 幹線道路ネットワーク

東北自動車道や東京外環自動車道、首都高速川口線、国道 122 号、国道 298 号、大宮東京線（さいたま川口線等）、大宮川口線（川口上尾線）などの広域・都市幹線道路網については、市民の暮らしや市内における産業活動を支える階層的な「**幹線道路ネットワーク**」の構築を図ります。

2) 公共交通ネットワーク

市民の広域的な移動を支える鉄道（JR 線、埼玉高速鉄道線）や地域間の移動を支えるバス路線については、通勤・通学や買物などの日常生活面での各種拠点間へのアクセシビリティや定時性が確保された、より利用しやすい「**公共交通ネットワーク**」の構築を図ります。

また、バスネットワークの中で需要が高い幹線公共交通軸については、新しい交通システム等の導入について検討を行います。

② 自然環境ネットワーク

1) 水のネットワーク

荒川や芝川などの水辺空間については、防災機能にも配慮しながら、レクリエーション機能など、市民が身近に自然のうるおいとやすらぎを感じることのできる「**水のネットワーク**」の構築を図ります。

2) 緑のネットワーク

安行近郊緑地保全区域を中心とした、グリーンセンター～（仮称）赤山歴史自然公園～川口緑化センター（樹里安）」などの各拠点を結ぶ回遊エリアについては、「植木の里・安行」ブランドの振興や都市農業の活性化など、市民や来訪者が緑化産業の魅力を感じることのできる「**緑のネットワーク**」の構築を図ります。

③ 駅間・拠点間ネットワーク

川口駅～川口元郷駅～荒川運動公園や西川口駅～SKIP シティ～鳩ヶ谷駅～南鳩ヶ谷駅などの鉄道駅間やレクリエーション・産業拠点間を結ぶ回遊エリアについては、市民や来訪者の誰もが快適にアクセスできる「**駅間・拠点間ネットワーク**」の構築を図ります。

【将来都市構造図】



凡 例

<p>ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 産住共生都市ゾーンと都心地域 産住共生都市ゾーン 都心地域 樹園都市ゾーンと緑化産業地域 樹園都市ゾーン 緑化産業地域 	<p>拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅を中心とする生活拠点 レクリエーション・産業拠点 公園・レクリエーション拠点 緑化産業拠点 情報産業拠点 駅間・拠点間ネットワーク 	<p>ネットワーク</p> <p>交通ネットワーク</p> <p>幹線道路ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域・都市幹線道路網 <p>公共交通ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹線公共交通軸（鉄道） 幹線公共交通軸（バス） 支線公共交通軸となるバス路線 <p>自然環境ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 水のネットワーク 緑のネットワーク
--	---	---

